【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【公開番号】特開2007-185501(P2007-185501A)
【公開日】平成19年7月26日(2007.7.26)
【年通号数】公開・登録公報2007-028
【出願番号】特願2006-337184(P2006-337184)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　1/00　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/07　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　1/00　３２０Ｂ
Ａ６１Ｂ　1/00　３００Ａ
Ａ６１Ｂ　5/07

【手続補正書】
【提出日】平成21年11月9日(2009.11.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定の機能を実行するための機能実行部と、
前記機能実行部に電源を供給する電源部と、
前記機能実行部と前記電源部とを内包するカプセル本体と、
前記カプセル本体の長手軸方向側に配置された磁性体による磁気誘導によって接離する一対の接点によって前記機能実行部と前記電源部とを通電および通電遮断可能に接続する前記カプセル本体の内部に設けられた磁気スイッチと、
を具備することを特徴とする被検体内導入装置。
【請求項２】
前記磁気スイッチにおける接点が、前記磁性体による磁気誘導によって直接磁化されて接離するものであることを特徴とする請求項１に記載の被検体内導入装置。
【請求項３】
前記磁気スイッチの接離方向が、前記カプセル本体における長手軸方向と実質的に垂直であることを特徴とする請求項１に記載の被検体内導入装置。
【請求項４】
被検体内に導入される略円筒形の長手軸方向に回転対称形状に形成される被検体内導入装置において、
前記略円筒形内に設けられ、予め設定された所定の機能を実行する機能実行部と、
前記機能実行部に電源を供給する電源部と、
前記長手軸方向と垂直に設けられ、前記機能実行部と前記電源部とを接続し、前記長手軸方向の外部から略平行に加わる磁界の作用に応じて、前記電源部から前記機能実行部へ電源供給されるように構成されるスイッチ部と、
を備えることを特徴とする被検体内導入装置。
【請求項５】
前記スイッチ部は、前記長手軸方向の外部から略平行に加わる磁界の作用に応じて、厚み方向に多層する異なる極性に磁化される磁性体からなる固定電極および可動電極を有し

、前記磁化により前記可動電極が前記固定電極に接触するように可動して、前記電源部から前記機能実行部へ電源供給されるようにすることを特徴とする請求項４に記載の被検体内導入装置。